

ガイダンス機能の充実を図る工夫

Q 1 ガイダンスとは何ですか。

A 生徒のよりよい適応や選択にかかわる，集団場面を中心とする指導・援助であり，生徒一人一人を最大限に開発しようとする事です。

Q 2 今回の学習指導要領の改訂において，ガイダンスの機能の充実を図ることが述べられた背景は何ですか。

A いわゆる中1ギャップにより，新しい学習環境や人間関係につまづいて，学校生活に不適応を起こす生徒も少なくありません。また，進路の選択などの指導に当たっては，生徒が自己の個性を発見し，伸ばしていくといった観点から，学級活動の内容・方法を工夫していくことが求められていることなどが背景が考えられます。

Q 3 ガイダンスの機能の充実を図る活動の内容はどんなものが考えられますか。

A 小学校では次のような活動内容が考えられます。

- ・ 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- ・ 希望や目標をもって生きる態度の形成
- ・ 望ましい人間関係の形成

A 中学校では次のような活動内容が考えられます。

- ・ 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- ・ 学校における多様な集団の生活の向上
- ・ 思春期の不安や悩みとその解決
- ・ 望ましい人間関係の確立
- ・ 自主的な学習態度の形成と図書館の利用
- ・ 進路適性の吟味と進路情報の活用
- ・ 主体的な進路の選択と将来設計

Q 4 ガイダンスの機能の充実を図るためにはどのようなことに気を付ければよいですか。

A ガイダンスの個々の活動については，ねらいをもち，その実現のために，こ

れまでよりも適時に、適切な場を設け、よりよい内容・方法で実施するよう改善を図ることが大切です。また、そのための指導計画を立て、教師の共通理解と協力により、その効果を高めることも大切です。

特に中1の生徒の指導に当たっては、小学校高学年の学級活動との接続も図って、生徒に希望や目標をもたせるとともに、達成感を味わわせることができるよう工夫する必要があります。

Q5 具体的にはどんな活動例が考えられますか。

A 例えば、「希望や目標をもって生きる態度の形成」をねらいとした授業では以下のような小学校の活動例が考えられるのではないのでしょうか。

- (1) 題材「6年 組の学級目標を決めよう。」
- (2) 目標
最高学年としての自覚をもち、積極的に自らの学級づくりに取り組むことを通して、協力して学級生活の向上を図る態度を養う。
- (3) 指導上の留意点
 - ・ 事前調査を十分に行い、児童の願いを確認した上で話し合わせる。
 - ・ 集団決定したものと個人との関連を明確にする。
 - ・ 学級目標と日常生活との関連を十分に確認させる。
- (4) 活動の展開

過程 (分)	主 な 学 習 活 動 (主な指導と援助)	子どもの反応等
共有化 (10分)	1 学級目標の決め方を確認する。 2 学年目標に関する学級の様子を知る。 (学習態度、生活態度、健康の様子を確かめさせることで、学級に合う内容を考えさせる。)	
活動の展開例 (20分)	3 学年目標に対する学級目標を話し合う。 知、徳、体についてそれぞれの目標を決めよう。	(グループごとにブレインストーミングを使って、それぞれの項目について自由に意見を引き出す。)
	集中して学習する、明るくはきはき、学級対抗で勝ちたい、実行力、男女仲良く、元気いっぱい など (出された学級目標の中のいずれに重点を置くのか、構成的グループ・エンカウンターで十分に話し合わせて、その優先順位から学級全体の目標を決めさせる。)	
	知・計画を立て、進んで学習する。 徳・男女仲良くする。	

	<p>体・最後まで頑張り,体を鍛える。</p> <p>4 1日の生活の中でどのように学級目標に取り組んでいくか話し合う。 (取組方について話し合い,実践の見通しをもたせる。必要に応じて教師が助言する。)</p> <p>・ 朝の会,帰りの会で確かめ合う,学級日誌に記録する, 毎月末にアンケートをとる など</p>
<p>実践への意欲化 (15分)</p>	<p>5 自分の目標を学級目標とも照らし合わせながら決める。</p> <p>・ 宿題を忘れない,漢字を覚える,みんなと遊ぶ,一日一善, 一日縄跳び200回 など</p> <p>(子どもたちの目標をカードに書かせた後,一人一人発表させる。学級設営にこの目標の書いたカードをすべて掲示すること知らせることで,1年間の個人目標を意識させる。)</p> <p>6 教師のまとめを聞く。 7 感想を書く。</p>